

安全で安心なまちづくりに協力

PSCパトロール隊に白川・小原中学校が参加

7月11日、PSCパトロール隊(中学生防犯ボランティア)結団式がホワイトキューブで行われました。この日は、これまで活動を行ってきた白石・福岡・東・南の4中学校に加え、新たに活動を行う白川・小原の2中学校の参加が承認され、亀川富士雄白石警察署長から各校代表者に協定書が手渡されました。また、白石・東の2中学校の代表者が、これまでの活動などを報告。参加者は熱心に耳を傾けていました。今後各校は、警察署などと協力しながら、事故防止などの取り組みを自ら企画し、地域の防犯活動を展開していきます。



1_ 亀川署長から協定書を受け取る白川中代表の小畑有紗さん、2_ 今後の取り組みなどを発表する小原中代表の星克弥くん

科学を通して好奇心や創造力を伸ばして

大鷹沢小学校で「ソニーものづくり教室」



▲バケツで電池ができることに驚く児童

7月20日、ソニーセミコンダクタ(株)白石蔵王TECの社員が大鷹沢小学校を訪れ、「ソニーものづくり教室」を開催しました。6年生と保護者約30人が参加した教室で、同社の小野俊明さんが「この教室を通して、少しでも理科が好きになってくれたらいいと思います」とあいさつ。児童たちは、バケツと塩と銅板を使った「バケツ電池」で電池の仕組みを勉強したり、手作り乾電池に挑戦したりと、楽しみながら科学にふれていました。同社では、未来をつくる子どもたちを応援し、科学を通して好奇心や創造力を伸ばす支援をしています。

交通事故事故ゼロ500日を達成

宮城県知事と県警本部長から褒状

平成23年3月31日、小原地区の国道113号で発生した事故以降、交通事故ゼロ500日の記録を達成した本市に、8月13日、褒状が伝達されました。この日は、宮城県震災復興企画部・総合交通対策課鹿又正良副参事から知事褒状、白石警察署駒板雅敏副署長から宮城県警本部長褒状が太齋副市長に手渡されました。鹿又副参事は、「市民総ぐるみの交通安全活動への尽力の賜物。敬意を表します」とあいさつ。太齋副市長は「これからさらに、事故を起こさない、事故にあわないよう努力を重ね、地域環境の醸成に努めます」と話しました。



▲知事褒状を伝達する鹿又副参事(写真右)

元気に100歳を迎えました

齋藤はなよさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈



▲風間市長と笑顔で話をするはなよさん

8月17日、満100歳を迎えた齋藤はなよさん(福岡長袋)を風間市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝福しました。はなよさんは福岡深谷のご出身。結婚後は6人の子どもを育て、現在は孫が5人、ひ孫が1人います。足腰が弱って寝ていることが大半ですが、以前は、漬物をつけたり、収穫した農作物の下処理をしたりするなど、身体を動かすことが好きだったそうです。長生きの秘訣は、「腹八分目を守ること」というのはなよさん。この日は親族が集まり、みんなではなよさんの長寿を祝いました。

「遊びを作る力」を育て!

第一児童館で「あそびプラスOne」プログラム

7月31日、東京のNPO法人「コドモ・ワカモノまちing」(星野諭代表)のスタッフが第一児童館を訪れ、放課後児童クラブの児童約100人とビー玉転がし作りや巨大積み木作りなどでふれあいました。同法人は、東日本大震災で被災した子どもたちの笑顔を取り戻したいとさまざまな活動を実施。「遊びを自分たちで考えて作ってほしい」という思いから、「どうやったらもっとおもしろくなるかな」と投げ掛けながらふれあいました。子どもたちは真剣な表情で、試行錯誤しながら汗をふくのも忘れ「遊び」を作り上げていきました。



▲手作りゲームでビー玉の行き先を見つめる子どもたち

白石サッカースポーツ少年団が優勝!

第6回白石市長杯少年サッカー交流大会



▲優勝カップとともに記念撮影する白石サッカースポーツ少年団の選手

8月4日・5日、「第6回白石市長杯少年サッカー交流大会」が白石川サッカー公園で開催されました。大会には、宮城・福島・山形の3県から12チームが参加。30度を超える炎天下で、選手たちは優勝を目指してピッチを駆け回りました。本市から参加した「白石サッカースポーツ少年団」「FC白石ジュニアーズサッカークラブ」「大平サッカースポーツ少年団」は、3チームとも予選リーグを突破。その中でも予選を圧倒的な強さで勝ち上がった白石サッカースポーツ少年団が、決勝トーナメントでも勢いをそのままに市長杯を手に入れました。

スポーツを通して友情を深める!

姉妹都市の海老名市、登別市とスポーツ交流大会

8月4日、「海老名・白石姉妹都市少年スポーツ交流大会」が福岡中学校体育館で開催され、海老名市と本市の小中学生や指導者など約100人が剣道競技を通して交流しました。この日は、異なる選手と何度も対戦する試合形式の稽古を行った後、グリーンパーク不忘でバーベキューなどを楽しみました。

また、8月5日には、「登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流大会」が白石中学校武道場で開催され、登別市と本市の小中学生や指導者など約30人が柔道競技を通して交流しました。この日は、登別市と白石市が団体戦で対戦。4試合が行われ3勝1引き分けで白石市が勝利しました。試合後は、選手や指導者が一緒になって合同稽古を行うなど、30度を超える猛暑の中、真剣な表情で稽古に励み、スポーツを通して友情を深めていました。



1_海老名・白石スポーツ交流大会(剣道競技)
2~4_登別・白石スポーツ交流大会(柔道競技)